



シリーズ  
第20章



# 市民の皆さんの 安全を支えて いきたい

やまざき みちよ  
山崎 美智代さん

高山市消防団高山支団女性部分団長

## かがや 輝く女性 高山で活躍する みなさんの今

県は県内で活躍する女性や子育てを応援する企業を平成26年から認定。うち、市内には23人の女性と3つの企業があります。高山で活躍する“みなさんの今”を連載で紹介します。

高山支団の女性部分団長として、市民の安全を守るため活動する山崎さん。

山崎さんが消防団に入団したのは平成14年のこと。看護師のスキルを生かして、何か出来ることはないかと消防署を訪ねたのがきっかけです。高山支団女性部には現在、14人が所属し活動しています。

女性部では主に、高齢者宅への防火訪問や救命講習会のサポートなどの役割を担っています。

高齢者宅の防火訪問では、高齢者の安否確認を兼ねながら、宅内の避難経路の確認などを行っています。

「高齢者宅は女性が多いので、私たち女性部がお伺いすることで、安心感が増すんです」

と話す山崎さん。男性の多い消防団の中で、女性ならではの活動を繰り広げています。

また、「火事はいつ起こるか分からないから」と、春と秋の火災予防期間に実施していた防火訪問を、年間を通じた活動に広げました。今では年間100軒以上の家を訪問しています。この取り組みを、いつか全国女性消防団員活性化大会で報告し、全国の女性消防団員に知ってほしいと目標を語ります。

一方、救命講習会では、市民や消防団員のほか、プールの時期には教員や保護者にも指導します。周囲の人や大切な人が倒れた時、どう行動するのかを学び、いざというときに備えます。

「熱心に受講した人たちから「来てよかった」と言ってもらえた時が、やってよかったと思う瞬間ですね」

そう笑顔で語る山崎さんは、今日も市民の安全を守るため、市内を駆け巡ります。

### 消防団員募集中！

あなたの力を待っています

入団申し込み・お問い合わせは、消防総務課  
(☎34-3792)または各支所まで

### 広報 市長だより

86

忘れてはいけないこと

高山市長 國島芳明

東日本大震災から8年となる3月11日、市では、市平和のシンボル「平和への絆」の鉦を打ち鳴らし、被災地から当市に移住している五十嵐浩子さんが追悼のメッセージを読み上げました。五十嵐さんは現在、3人の子どもを育てながら、郷土の現状や自身の体験を伝えるなど、防災・減災活動に取り組んでおられます。

「今日この日は、この時は、誰かが生きてきたかった一瞬なのだと思ひ、日々を大切に生きていきたい」と決意を語る五十嵐さん。

震災当時5歳で現在中学生となった長男は、「僕の故郷は高山だ」とおっしゃったそうです。故郷高山で、健やかに成長されることを願ってやみません。私は引き続き「忘れない、風化させない」ことを強く訴え続けてまいります。市民の皆様におかれましても、大震災の経験と教訓を風化させず、いま一度心に深く刻み、復興支援と防災への取り組みにご理解とご協力をお願いします。



### 市長室へ ようこそ

●市民と市長の面談日



4月23日(火)

午前9時～11時45分

※事前にご予約ください

市長室直通FAXもご利用ください  
FAX☎36-2060

問合せ先 秘書課 ☎35-3130

ケーブルテレビの番組「ハイ、市役所です」はインターネットでもご覧いただけます。  
市ホームページ「行政情報」の動画コーナー

高山市公式YouTubeチャンネル

検索

編集・発行/高山市総務部広報情報課

〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地

TEL/0577-32-3333(代)

FAX/0577-32-7000 (市長室直通)

FAX/0577-35-3174 (広報情報課直通)

E-mail/kouhou@city.takayama.lg.jp

HP/http://www.city.takayama.lg.jp/

携帯用HP/http://mobile.city.takayama.lg.jp/

防災行政無線の内容は電話でも確認できます

☎0577-35-6000